

大学、専門学校の中退を考える(2)

近年、文部科学省の指導による定員の厳格化や、大学の学生募集の努力、入試の多様化などにより、定員割れは減っています。しかしながら定員割れを起こしている大学は約4割あり、学校を選ばなければ大学に入りやすくなっています。しかし、せっかく入学したのに退学したり、目的もなく休学したりしては進学した意味がありません。

進学すれば将来自分のやりたいことが見つかると思ったり、なんとなく進学したり、その後の目標や就職を考えずに大学に行っては、中退や休学することになってしまいます。前述した『学生の中途退学や休学等の状況について』によると、中退した学生の所属していた学部・学科別で一番多いのは、大学では一般的にサラリーマン学部といわれる法学部、経済学部、経営学部、社会学部などの社会科学系の学部・学科の学生が34.6%、短大・高等専門学校では幼稚園教諭・保育や介護士などを育成する教育・福祉系の分野が29.2%、専門学校では国家資格を目指すため勉強や実習がハードといわれる看護師、調理師、美容師などを育成する医療・保健・衛生の分野が51.1%となっています。

それでは、大学・短大、専門学校に進学しても中退や、目的のない休学を防ぐためのポイントを考えてみましょう。

- ① 大学・短大、専門学校への進学後の就職を考えて進学する
- ② 「なんとなく進学」「とりあえず進学」をしない
- ③ 早い段階から進路を考え進路情報を収集し、進路決定を行い、具体的な行動に移す(例えば受験勉強)
- ④ 推薦入試やAO入試等で学科試験が課せられない進学であっても、入学後の講義や試験についていけるよう合格後、進路先で必要になる学力の向上に努める
- ⑤ 入学後、学内での友人や教職員と人間関係をつくり、学校生活に関する相談等を出来るように努める

やはり早くから大学や短大に進学後の就職を視野に入れた進路選択をする必要があります。また、専門学校に進学した場合は、その専門学校で学ぶことが、ほぼ就職を意味することを忘れてはいけません。単に写真が好きだから、ファッションが好きだからといって専門学校に進んでも、毎日々理論や技術を学び、写真やファッションに携わるのでは意味が違ってきます。

「なんとなく進学」「とりあえず進学」は、進学先での学業不振や無関心に

つながります。大学・短大に行けば何かやりたいことが見つかると思っ
てはいけません。前述の研究でも、学業不振・無関心が最も重要な中退理由となっ
ています。

誤った進路選択をしないために、早めに自らの進路を考えることが大切で
す。早めに進路選択を決めたほうが、その進路に向けて早く取り組むことがで
きます。大学を進学するとき、一般的には高校1年時の夏から秋にかけて決め
なくてははいけません。科目選択で文系なのか、理系なのか問われるからで
す。最初は漠然でもよいので、将来の職業を考えてみましょう。例えば教師に
なりたいたいと思えば、教育学部への進路が考えられます。教師でも小学校教諭な
ら、小学校の免許の取得できる大学への進路が考えられます。その大学に進学
するための入試科目を選択することが必要になります。やはり職業と学問のつ
ながりを理解し、その結果として資格・技能等を調べることに繋がります。こ
の職業と学問の繋がりを認識できていれば、①と②のポイントはクリアできる
ことになります。

部活動やアルバイトに毎日精を出し、ほとんど自宅で勉強せず、3年生にな
って進路選択の時期になって学力試験を経ないで入学した学生に中退や休学が
多くみられます。そのため、入学時にテストを課して学生の学力を測り、補講
や特別講義などを組んでいる大学があります。

また、学力試験が課されないで入学してくる生徒や、高校時代の履修単位数
が少ない生徒に、入学前に課題等を課してくる大学も少なからずあります。推
薦入試等で早く合格しても、進学先での学習を考えて勉強に心がけましょう。

大学・短大、専門学校での生活の満足度を大きく左右するのが、学内での人
間関係だといわれています。オックスフォードやケンブリッジなどの有名大学
で「入学して一番良かったことは」という質問に対して、「生涯の親友ができた
こと」という回答が一番多いと聞いたことがあります。学校において友人関係
は、学校生活を満足させる重要な要因です。学内に友人が多いと、中退や目
的のない休学をしない傾向があるといわれています。友人がいなくても、学校
で学ぶ意義や魅力を感じている学生は、退学や目的のない休学をしないと思
いますが、目的意識もなく進学した学生は、友人がいないと学校に通う意味を見
いだせなくなるといわれています。やはり、共に学び、会話し、遊ぶというな
かで人間関係を形成することが、学生一人ひとりを成長させると思います。

大学・短大、専門学校に行って学ぶ目的が見いだせないのなら、校内の友人
に相談にのってもらうことができます。もし、友人ができなかったり、少な
かったりした場合、大学・短大、専門学校のカウンセラーや学生課等の教職員に
相談にのってもらうことを勧めます。学業の悩みを解決できれば、中退しなく
てもすむと思います。「なんとなく」・「とりあえず」の進学は要注意です！